

活動団体の紹介 ③

市民参画と協働の まちづくり条例

桂ヶ丘公園づくりわくわくワークス

今年4月から、自治会の賛同と協力を得て、未整備のままの状態になっている公園を、地域住民のアイデアにより整備しています。公園の土壌整備、植樹、ベンチの設置などの活動を実施していく中で、住民の交流だけでなく活動に賛同する企業・学校・団体とも連携が図れるようになりました。今後もさらなる住民の交流を深めることができる活動を実施していきます。



植樹作業の様子

兼山駅跡地活性の会

名鉄八百津線の廃線に伴い、空き地となってしまった兼山駅跡地。この土地をそのまま放置しておくのではなく、「近隣住民の生活環境の向上に役立てないか」という声が上がリ、活動が始まりました。散策時の休憩用ベンチの設置や低木・花を植栽し、景観に配慮した緑化と季節を感じる空間づくりを進めています。兼山が、世代を超えた誰もがゆったりとした時を過ごせる癒やしの空間になることを目指し、活動をしています。

問合せ先 まちづくり推進課



土壌整備の様子

みなさんの 善意



次の皆さんから寄付がありました。
(敬称略)

社会福祉に…

- (特)サンピープル
- 空手道剛柔流練正館

児童福祉に…

- 可茂陸砂利協同組合

ありがとうございました。

【ムラサキミミカキグサ】

- 環境省レッドリスト：準絶滅危惧
- 県レッドデータブック：準絶滅危惧

【ミミカキグサ】

- 県レッドデータブック：準絶滅危惧

【ホザキノミミカキグサ】

- 県レッドデータブック：準絶滅危惧

※生息地については非公表

地球のいのち、つないでいこう

2010年 国連国際生物多様性年

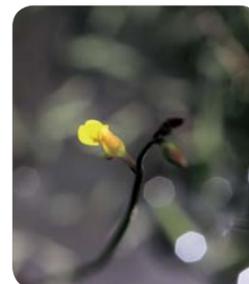
—市内に生息する貴重な動植物— その19

ムラサキミミカキグサ(タヌキモ科)

高さ7～15cm程度の多年草で、丘陵帯の湿地に生育します。花は青紫色で長さ3mm程度、8～9月に咲きます。食虫植物で地下茎に袋状の捕虫のうがあり、微小動物を吸い込んで栄養分とします。葉はへら形、長さは4mmで、地下茎の所々から出ます。名前の由来は、花が終わった後に「がく」が大きくなり、果実を包んだ姿が耳かきに似ていることによります。そのほかにやや大型で花が黄色のミミカキグサ、薄紫色のホザキノミミカキグサがありますが、湿地の減少で数が減っています。



ムラサキミミカキグサ



ミミカキグサ



ホザキノミミカキグサ

問合せ先 環境課



落差12mの一乗滝

▼ソースカツ丼



写真提供：(社)福井県観光連盟



▲越前おろしそば



私のふるさとには福井市です。春は、日本のさくら名所100選にも選ばれた「足羽川の桜並木」。とてもきれいで、こので行われる「越前時代行列」はよく見に行きました。夏は、佐々木小次郎が燕返しをみだしたとされる「一乗滝」。真夏でもとても涼しくて、子どもたちは遊んだり、植物観察をしていました。秋は、福井生まれのお米「コシヒカリ」。

私の住んでいた周りは一面田んぼで、収穫の時は、昔も今も手伝っています。冬は、「越前ガニ」。中でもセイコガニのミノは濃厚でとても美味です。また、我が家では、年越しは必ず「越前おろしそば」。だしにも大根おろしが入っていて、辛みのきいた味わいです。このほかにも、学校帰りによく食べた「ソースカツ丼」など、福井市では、一年を通じておいしいものや風景がたくさんあります。ぜひ一度訪れてみてください。

四季折々に楽しめるまち



●記 後藤 理恵さん(下切)

学校からこんにちは 14 Educe 9

西可児中学校



昭和54年に開校し、今年32年目を迎えました。かつては、1,600人を超えるマンモス校でしたが、昭和61年に広陵中と分離し、現在の生徒数は500人を切りました。生徒は、毎日はずつとした学校生活を送っています。

今年度から、西可児中学校区がEduce9実践校の指定を受け、来年度の公表会に向けて、校区の春里小学校と南帷子小学校と連携し研究実践を進めています。

3校の共通の研究テーマは、「考えをもち、仲間と進んでかわりながら理解を深める児童生徒の育成」です。授業において「聞く・話す」を大切に、「考えを伝え合う力」の育成を重点に進めています。仲間の考えに、「なるほど」「わかった」と反応し、仲間と高め合っている授業を教師と生徒ともに目指してがんばっています。

(文：納土 昌秀 教頭)

創立：昭和54年
生徒数：467人
所在地：若葉台7-1
電話：65-6835



実験方法について話し合う生徒たち